

令和6年度 都市計画部の各課・室に対するご意見及び回答の要旨

NO.	担当課	意見の要旨	回答の要旨
1	都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> 川口駅に中距離電車が停車する際には、短い工期でできるようにJRへ要望して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでJR東日本や国・県に対して川口駅への鉄道輸送力増強を訴え続けてきたが、JR東日本から川口駅への中距離電車のホーム増設を含む駅再整備について、具体的な計画案や事業費などを内容とする調査結果の報告を受けたところである。 基本協定締結の際には、JR東日本に工期の短縮を働きかける。 引き続き、JR東日本との基本協定の締結に向けしっかりと取り組むとともに前向きに協議を進めていきたいと考えている。
2	都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> 中距離電車を川口駅に停車させることが、川口市の定住人口を増やすという発想に疑問を抱く。 	<ul style="list-style-type: none"> 川口駅に中距離電車が停車することにより、駅利用者の移動時間の短縮に繋がることに加えて、通勤・通学や来訪の円滑化により、中長期的に定住人口や関係人口の拡大が期待されることから、中距離電車停車に向けた検討を進めているところである。
3	都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> 川口駅の混雑を理由に中距離電車停車を請願しているが、埼玉県北民や栃木・群馬県民の利便性が犠牲とにならないか 将来人口について 	<ul style="list-style-type: none"> 川口駅の乗車人員は増加傾向にあり、乗り入れ路線が1線であることから混雑が発生している。市民に限らず川口駅利用者の利便性向上と鉄道輸送力増強を目的とし中距離電車停車を目指す。 川口市の将来推定人口は、2035年まで人口増加が続き、2050年まで現在の人口を維持できると推定されており中長期的に人口の維持、増加が見込まれる。
4	都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> 川口駅に上野東京ラインを停車させることについて 駅前そごうの早急な活用について 東口パチンコ屋の早急な廃止について 	<ul style="list-style-type: none"> 川口駅利用者の利便性向上と鉄道輸送力増強を目的とし中距離電車停車を目指す。 事業者において、商業施設としてのリニューアルオープンに向けた取組が進められている。 商業地域内に現存するパチンコ屋を廃止することはできないが、新たな都市機能の導入に向け鋭意取り組んで参る。

5	都市計画課	・川口駅への中距離電車停車に反対する	・川口駅の課題解決のため今後も皆様のご意見を参考にしながら中距離電車停車に向けて協議を進める。
6	都市計画課	・西立野、石神周辺は土地開発により住宅系用途が増えてきているが、県道103号線付近にコンビニ以外何もなく不便であるため、スーパーやドラッグストアを増やしてほしい。	・西立野及び石神周辺は、平成13年の埼玉高速鉄道線の開業にあわせ、用途地域の変更と地区計画によるまちづくりのルールを定めており、県道103号線沿道を一定規模の店舗等が立地できるよう第一種住居地域に変更するとともに、地区計画により良好な都市環境を形成することを目標としたまちづくりの実現をめざしているところである。
7	都市計画課	・川口駅への中距離電車停車について停車対象を上野東京ラインとすることに反対する	・上野東京ラインと湘南新宿ラインを比較すると、本数増加の可能性、混雑率、利用者ニーズ、緊急時の代替性等の観点から、本市としては、上野東京ラインを停車対象として、今後の検討を進めていきたい。
8	都市計画課	JR中距離電車停車にともなう負担について ・460億円など勿体ない ・住民投票で決着してほしい	・川口駅への中距離電車の停車は、駅利用者の利便性向上に加え、関係人口の拡大効果があると考えており、川口駅への中距離電車の停車による鉄道輸送力の増強は必要であると考えている。 ・市民の皆様からお預かりした税金については、限られた財源を効果的・効率的に活用し、安定した行政サービスが提供できるよう努めて参りたい。
9	都市計画課	・川口元郷駅地上近くにコンビニを置いて欲しい	川口市都市計画基本方針のなかで、「誰もが安全・安心で快適に利用できる利便性の高い生活拠点として、商業・医療施設など、様々な生活サービス施設と中高層の共同住宅が共生する土地利用を誘導」と位置付けているところだが、この要望を踏まえ、地域の意向を反映したまちづくりを引き続き検討する。
10	都市計画課	川口駅への中距離電車停車について ・駅舎改修に400億円は高すぎるため計画を再考するべきである	・川口駅への中距離電車の停車は、駅利用者の利便性向上に加え、関係人口の拡大効果があると考えており、川口駅への中距離電車の停車による鉄道輸送力の増強は必要であると考えている。 ・市民の皆様からお預かりした税金については、限られた財源を効果的・効率的に活用し、安定した行政サービスが提供できるよう努めて参りたい。

11	都市計画課	<p>・戸塚安行駅周辺は土地開発により住宅系用途が増えているが、周辺に商業施設がなく不便であるため、スーパーやドラッグストアなどを増やしてほしい。</p>	<p>・戸塚安行駅周辺については、平成13年の埼玉高速鉄道線の開業にあわせ、用途地域の変更と地区計画によるまちづくりのルールを定めている。 店舗等の建築計画については、今後も、所有者等の意向や地域の特性を反映したまちづくりを引き続き検討していく。</p>
12	都市交通対策室	<p>蕨06系統の運行本数が少ないので、増発してほしい。</p>	<p>バス事業者によりますと、新たな路線の新設や延伸は、昨今の運転手不足等の観点から困難であるとのことですが、今回ご要望いただいた内容について、個人情報伏したうえでバス事業者に申し伝えさせていただきます。</p>
13	都市交通対策室	<p>笹根川における自動運転バスの運行について、自然保護の観点から、暗渠化をしないでほしいが、計画はどの程度進んでいるのか。</p>	<p>笹根川遊歩道の自動運転バス専用道化につきましては、暗渠化による影響および沿道整備等に課題が多く、現状での事業化は困難でありますことから、計画を中止いたしました。</p>
14	都市交通対策室	<p>JR東川口駅には指定席券売機が1台しかなく、4月の定期券購入時期は、長々待たざるを得ない時があるので、みどりの窓口の再設置をするよう要望してほしい。</p>	<p>JR東日本によりますと、東川口駅のみどりの窓口につきましては、駅の販売体制の見直しに伴い、令和4年7月22日をもって営業を終了したとのことですが、今回ご要望いただいた内容について、個人情報伏したうえで同社に申し伝えさせていただきます。</p>
15	都市交通対策室	<p>附島橋停留所で待っている乗客が自転車通行エリアを塞いでおり、通行の妨げとなっているため、設置位置を変えてほしい。</p>	<p>この度のご指摘を踏まえ、停留所標柱を現在の位置から上屋内に移設するよう、運行委託先に依頼いたしました。</p>
16	都市交通対策室	<p>東浦和駅南停留所が丁字路内に設置されており、安全の観点から、停留所を移設してほしい。</p>	<p>停留所の設置につきましては、沿道地権者の了承を得た後、道路管理者や所轄警察署等との協議のうえ、国土交通大臣へ届け出ることでなっております。 東浦和駅南停留所につきましても、同様の手順により設置しておりますが、みんななかまバスの路線再編を予定していることから、運行委託先のバス事業者とともに今後の対応を検討して参ります。</p>

17	都市交通対策室	みんななかまバス青木線を鳩ヶ谷東公園外周道路を経由する経路に変更してもらいたい。	みんななかまバスにつきまして、昨今の公共交通が抱える課題を踏まえ、ルート見直しを検討しているところでございますが、今回ご要望いただきました地域は、道路幅が狭くバスの通行条件を満たしていない箇所等があることから、大変恐縮でございますが、慎重に検討いたしたく存じます。
18	都市交通対策室	川口市上空を低飛行する羽田空港新ルートは、騒音・落下物・墜落事故などとても心配である。新ルートを運用しないよう、市として国に申し入れてほしい。	国土交通省では、新たな飛行経路を設定するにあたり、到着経路の高度引き上げ等による騒音対策や世界に類を見ない厳しい基準を策定するなどの落下物対策に力を入れているとのことですが、市では、引き続き県及び関係自治体と連携して環境対策や安全対策の着実な実施を求めて参ります。
19	都市交通対策室	みんななかまバスを日曜や休日にも運行してほしい。	日曜・祝日の運行につきましては、過去の運行経路見直し時に、平日と比較して利用者が少なかったことから取り止めとなった経緯に加え、昨今の運転手不足の深刻化を踏まえると、日曜・祝日の運行は、現時点では困難であると考えております。一方で、本市では、コミュニティバス全体の運行経路の見直しに着手しており、この中で利用者の利便性向上に向けた方策について、検討して参ります。
20	都市交通対策室	川口駅西口のみんななかまバスのりばに掲示されている時刻表と路線図が色あせているので、新しいものに交換していただきたい。	この度ご意見を頂戴いたしました、みんななかまバス川口駅西口のりばの掲示物につきまして、新しいものへ交換いたしました。
21	都市交通対策室	川口駅から徒歩では少し距離のある西スポーツセンターへシェアサイクルを設置していただきたい。	シェアサイクルの設置には、1年を通じて安定的に運用できることが必要でございますが、この度ご意見を頂戴いたしました西スポーツセンターにつきましては、時季によって敷地内の駐輪場所が不足し歩道等への違法駐輪が発生する恐れがあるため、ポートの設置を見送っているところでございます。

22	都市交通対策室	シェアサイクルを、イオンモール川口前川、ミエルかわぐち、島忠川口朝日店及びウエルシア川口栄町店に設置してほしい。また、アリオ川口及びララガーデン川口のラックを増設してほしい。	周辺の既存ポートの配置や利用状況等を踏まえ、順次、設置・増設についての働きかけを行って参りたいと存じます。
23	都市交通対策室	川口駅への中距離電車停車について、上野東京ラインであれば反対である。 川口に都内の方を呼び寄せたいのであれば、埼玉高速鉄道に税金を使い、学生通学定期1年定期の新設や普通運賃の値下げを検討したらよいのではないか。	本市を含む沿線自治体は、埼玉高速鉄道株式会社に対して、これまでに負債の肩代わりをはじめとする多額の財政支援を行ってきたことから、今後は、自治体からの財政支援に頼らない自立した安定的な経営を確立することを基本的な考え方としております。こうしたことから、運賃の値下げのための財政支援を、市から埼玉高速鉄道株式会社に対して行うことについては、慎重に対応してまいりたいと存じます。
24	都市交通対策室	イイナパーク川口に行く際、最寄りのバス停より徒歩16分強歩かなければ着かないので、不便だなと感じた。自家用車を持っていない家庭でもイイナパーク川口に行きたいと思っている方がいることを考慮して、正門付近にバス停と路線を設置してほしい。	イイナパーク川口への路線バスにつきまして、土・日曜、祝日のみではございますが、新井宿駅からイイナパーク川口・グリーンセンター・イオンモール川口結ぶ路線バス「川口パークループ」の実証運行を行っておりますので、ぜひご利用ください。 ※実証実験は、令和7年3月30日をもって終了。
25	都市交通対策室	コミュニティバスの車両について、車体にテープをはがした後があり、タイヤのホイール周りも黒ずんでいて汚いので、キレイにできないか。	コミュニティバス車両の件につきましては、平成25年の導入から10年以上経過したことにより、車体ラッピングの経年劣化が進んでいるものと認識しております。 本市では、コミュニティバスの路線再編を予定していることから、この中で車両の代替計画につきましても運行委託先のバス事業者とともに今後の対応を検討して参ります。

26	都市交通対策室	<p>みんななかまバスの運行間隔について、少なくとも1時間に1本にするとともに、路線バスの利用に補助をしてほしい。</p>	<p>みんななかまバスの利便性向上に向けて、現下のバス事業者の運転手不足の深刻化を踏まえると、路線バスとの役割分担を明確にしたうえで、コミュニティバスのルート見直しを行い、市内バスネットワークの維持や充実に繋げることが必要であると認識しており、こうした考えの下、ルート見直し案の策定を進めているところでございます。</p> <p>また、路線バスの運賃軽減策につきましては、高齢者の皆様が利用しやすい環境づくりに努めるよう、関係部局とともにバス事業者に要望して参ります。</p>
27	都市交通対策室	<p>川口でも東京のようにLUUPを使いたい。</p>	<p>本市は、株式会社Luupが提供している電動マイクロモビリティのシェアリングサービス「LUUP（ループ）」のサービス未展開エリアであり、市有地へのポート導入の予定はございません。今後のサービス展開につきましては、直接事業者へお問い合わせください。</p>
28	都市交通対策室	<p>新郷、安行、芝、あたりではまだまだ交通も不便な場所がたくさんあり、安行では、バスが1時間に1本しか走っていない。</p>	<p>市内の公共交通につきまして、本市ではコミュニティバスの路線見直しを進めているところでございます。見直しにあたっては、この度頂戴した御意見を参考にさせていただくとともに、今後も利用ニーズの変化を捉えながら、交通事業者と連携して、公共交通の利便性向上に努めて参りますので御理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>